

資料8-3

競技スポーツへ取り組むこととなった企業

企業名	競技名	競技種別	備考
アルプス小名浜	サッカー	男子	1部
	サッカー	男子	2部
飯塚病院	野球	男子	2部
	バレーボール	女子	9人制
N O K	野球	男子	
	バスケットボール	男子	
北芝電機	陸上競技	男子	中・長距離
	サッカー	男子	
	ウエイトリフティング	男子	90kg級
	バレーボール	男子	6人制
	弓道	男子	
眞羽化学	陸上競技	男子	中・長距離
	バレーボール	女子	6人制
郡山信用金庫	野球	男子	
	バレーボール	女子	6人制
佐川冷蔵	スケート	男子	スピード
	アイスホッケー	男子	
住友ゴム白河	陸上競技	男子	中・長距離
ソニーエナジーテック	ソフトボール	女子	
大東銀行	テニス	女子	
トーアエイヨー	卓球	女子	
東邦銀行	ソフトボール	女子	
東北沖電気	軟式庭球	男子	2部
	軟式庭球	女子	1部
東北電力	バレーボール	男子	9人制
東北ムネカタ	ハンドボール	女子	
	スキー	男子	
ナカヤ	スキー	女子	
	バレーボール	女子	9人制
日東紡福島	卓球	女子	
	卓球	男子	
	野球	男子	
日本精工	ホッケー	男子	
日本たばこ須賀川	野球	男子	
機本フォーミング	野球	男子	
日立テレコム	バドミントン	男子	
日立東海原町	サッカー	男子	1部
	陸上競技	男子	2部 長距離
福島東洋通信機	ソフトボール	男子	
	テニス	女子	
	バドミントン	男子	
富士通会津	バドミントン	女子	
	バドミントン	女子	
松下電工郡山	陸上競技	男子	短・中・長距離
	漕艇	女子	

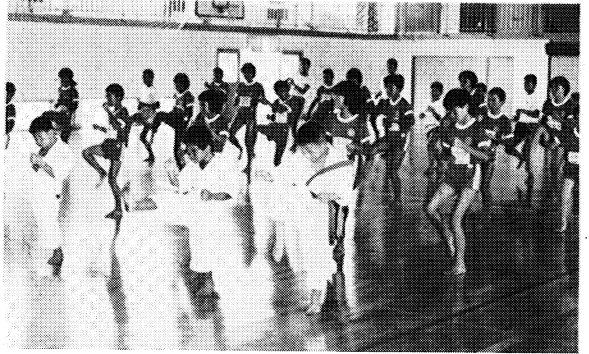
26社 18競技 29種別 男子 19種別 (平成元年10月現在)  
女子 10種別

2、企業スポーツ連絡協議会活動状況

企業スポーツ連絡協議会は、「第五十回国民体育大会本県開催を契機に企

心に、小・中学・高校生等を対象とした普及教室を開催し、競技人口の拡充、競技力の向上に努めている。(資料8-1・2参照)

また、昭和六十三年度まで本県において、チーム編成等のできない競技種目は十競技二十七種目であったが、本年度は、ホッケー、カヌー、アーチェリーなど五競技八種目が東北総合体育大会に参加するなど、国体不参加種目が解消されたが、早急に八競技十九種目の普及に努める必要がある。



スポーツに親しむ子どもたちは未来の大きな力

業におけるスポーツの普及・振興と相互の連携を図り、もって企業の発展と本県競技力の向上に資する。」という目的で設立され、現在、八十三社一団体と組織の拡大が図られている。

このなかで、競技スポーツに取り組む企業は、現時点においては二十六社・十八競技・二十九種別(男子十九種別・女子十種別)であり、これらの企業については、競技団体等と連絡を密にし、優秀な指導者・選手の確保等に努めることとしている。(資料8-3参照)

また、競技スポーツへの取り組みを検討中の企業については、競技団体、開催市町村等からの要請や企業独自による調査等により取り組みを検討する

こととしている。今後ともこれの拡充に努め、成年選手層の一層の競技力の向上を図ることとしている。

おわりに

第五十回国民体育大会において、本県の代表選手が日ごろ鍛えたその力と技を余すことなく発揮し、開催県にふさわしい優秀な成績を収めることは県民の願いでもあり、本県体育・スポーツの振興を図るうえで意義深いことである。

第五十回国体はあとわずか六年後に迫っている。

飛躍的な競技力の向上を図ることは一朝一夕には到底なし得ない大事業である。今後とも競技力向上推進総合計画に基づき、(財)県体育協会・各競技団体・開催地市町村、更には学校体育団体等と一層の連携を図り、各般の事業を積極的に推進して、県民の期待に応える必要がある。

